

大串ひろやす通信

発行者 千代田区議会議員 大串博康

〒102-0083 麹町2-14-305 Tel/Fax:03-3221-1554

この通信では

以下の3点について紹介させていただきました。

	コーナー	内容
1	トップページ	ホームページ開設しました。
2	第1回区議会定例会 一般質問	「まちづくりの仕組み」について質問しました。
3	ちょっと教えて	14年度予算の特徴は何ですか。
4	お知らせ	普段の区民相談さらに拡大して受付中です。

ホームページ

ホームページを作成しました。URLは、以下の通りです。



<http://www5d.biglobe.ne.jp/~ogushi/>

行政も大きな変革期にあります。官から民へ、国から地方へ。情報の共有から区民参画へ。これらの流れをこの千代田区から実現すべく取り組んでまいります。まずはこのホームページからさまざまな情報を発信してまいります。

ホームページは日々更新してまいりますので是非、訪問してみてください。このホームページを通して区民の方々とのコミュニケーションが図れたらと思います。



[内容] 以下の各項目は、トップページからクリックして開くことができます。

What's New	プロフィール	目的と方針	私の一般質問
私のメモ帳	公開日誌	お知らせ	みんなで考えよう
掲示板	メール送信はこちらから	メールマガジン	五つ星を目指そう
例規集検索ページ			

まちづくりの仕組みを考えよう

私たちにもできるの？

一般質問 都市計画法も変わりました



平成12年4月に地方分権に伴い都市計画法も大幅改正となりました。変更になった点は大きく3点あります。

1. 地方公共団体の行う都市計画に関する事務が自治事務となったこと。つまり国とか都からの指示で行うのではなく自らの仕事として行うこととなりました。
2. 都市計画決定は区市町村が中心的な主体となることとなりました。
3. 都市計画法の第3条に「地方公共団体は、都市の住民に対し都市計画に関する知識の普及、及び情報の提供に努めねばならない。」という項目が新たに追加されました。

[1] まちづくりの仕組みについて

(1) 都市計画マスタープランと今後のまちづくりについて

- 質問抜粋 - 従前のいわゆる行政主導のまちづくりの発想を延長するだけでは解決が図れなくなっているのも現実です。今や行政、住民、企業、NPOやボランティアなど多様な主体が連携し参加することによりまちづくりを行う時代になったのではないのでしょうか。都市づくりはまさに50年ぶりの大きな転換期にきたと思います。地方分権もあり都市計画法の改正もありました。また石川区長になり新たな基本構想もできました。このような時、まちづくりの将来像、目標を区民に明確に示すということはきわめて大事であります。そこで最初に区長にこの都市計画マスタープランと今後のまちづくりについての所見をお伺いします。

【区長答弁】

ただいま、まちづくりに関しますいろいろな貴重なお話をいただいたわけですが、私自身も、まちづくりというのは単にハードということだけを考えるべきではなく、やはりソフトと申しますか、どうやったらこの地域がそこに住み、働く人にとってより良い地域になるかと言うことを地域で大いに議論をし、そしてつくり上げていく。それが時には都市計画という手法になったり、あるいはもっと違う考え方でまとまったりすることが往々にあります。正に私はそういう過程が一番大切なんだろうと思います。その仕組みの中で最も、いま申し上げましたことの中心的な仕組みが地区計画制度だろうと思います。これは大変一定の地域で合意形成をするのには時間がかかります。しかし、そのことは、ある面ではその地域の方がたが自分たちのまちをどうするかという大変ご熱心な議論になり、そしてある面ではそのことが大変まちづくりに私は有効だろうと思います。



都市政策が経済優先から 住民のための政策へと 大きく変わりました。

住民からの発意が基本です

(2) 具体的まちづくりの仕組みについて

- 質問抜粋 - 次にマスタープランに示されたまちづくりの目標を実現するためにはどうしたらいいの。私たちのまち、地域を良くしていくためには具体的にどうしたらいいのでしょうか。法制度面で変わったといっても具体的にはどうなのか。単に行政の仕事にとどまるのではなく、行政、住民、企業、NPOやボランティアなど多様な主体がまちを愛し、考え、ともにささえていく時代になったことは述べました。これらの主体が積極的な参加と連携により進めていくこととなります。中略 そこで身近なまちづくりの具体的な仕組みとして区はどのようなものを考えておられるのかお伺いします。

【都市整備部長答弁】

まちづくりの具体的な仕組みについてですが、まちづくりは地域住民、行政、企業、NPOなどが互いに協力しあって進めていくものであり、そのための第一歩は、まちづくりを身近なものにすることであると考えております。そこで現在区では、都市計画審議会に公募区民を入れたり、一般の方がたの傍聴が出来るようにするなどまちづくりへの区民参画を推進してきたところであります。今後さらに地域の特性を生かしたまちづくりを進めていくため、地域の方が自由に参加できるワークショップの活用などを図ることも考えております。

また地方分権により区が主体的に都市計画を決定することができる範囲が拡大したことによりまして、地域特性に応じたよりきめ細かな都市計画が可能となりました。中略 今後とも地域の方がたと話し合いをしながら、それぞれの地域にふさわしい地区計画など、まちづくりのルールづくりを進めていきたいと考えております。

(3) 地域からの発意ともいえるボランティア
またNPOに対する支援策は。

(ここでは「花さかじいさん」を例にあげさせてもらいました。)そこでこれら地域の発意ともいえるボランティア、NPOの活動を育みつなげていけるような区として支援策を最後にお伺いします。

【区長答弁】

今回アダプト制度という里親制度を提案させていただきましたが、これもハードというよりも、むしろ地域全体が出来るだけ自らの手で、そこにお住まいになっている方、あるいは働いている方等々によってより良い環境を作っていくという、そういう行動なり考え方を持っていたきたい。あるいは持つべきであるということの一環としてアダプトという考え方を outsizing させていただきました。これは、将来的には公園だとかそういうところにまで広がっていかねばいけないし、広げていくべきであろうと思っております。

【都市整備部長答弁】

そこでこれら地域の発意ともいえるボランティア、NPOの活動を育みつなげていけるような区として支援策を最後にお伺いします。中略 また、来年度からまちづくりに関連した新たなホームページを開設する予定であります。その中に意見欄を設けるなど検討してまいりたいと考えております。

今後とも地域住民とともに、きめ細かなまちづくりを進め、魅力あふれる千代田を目指してまいります。



ちょっと教えて 14年度予算の特徴はみんですか

特徴

特徴の第一にまず区の財政状況を区民の方に示すことが出来たことです。フローの収支だけでなくバランスシートも公表しストック面からも明らかにしました。また行財政構造改革推進大綱と予算編成の拠り所となる中期財政計画示した上での予算審議となりました。財政のどこが厳しいのか、構造改革はどこをどう変えていくのか。市を目指すならば将来にわたり持続的な成長が可能な構造に変えていく必要があります。今後を見通して、どうあるべきかを考え、提起し、議論し、選択肢を明確にすることとして編成されました。

また、少子高齢化など社会情勢が変化する中で、区民福祉を総合的に向上させ区民により良い行政サービスを提供するために編成した変革期対応の予算となりました。

主な事業

は新規事業
は拡充事業

ぬくもりネットワーク
児童家庭支援センターの充実
在宅サービス特別給付事業
居宅介護サービス利用者負担軽減事業
千代田小学校学童クラブ
子育てファミリー世帯等の親元近居助成
高齢者向け優良賃貸住宅の供給
道路のアダプトシステム
基礎学力向上プラン
商店街通年割引事業
行政評価制度の導入
江戸開府400年記念事業など。



お知らせ 相談受付サービス開始!



お堀の菜の花がきれいです

今月7日歩こう会がありましたが、半蔵門からのお堀は菜の花でいっぱいでした。雨上がりということもあり葉に残るしずくもきらきらと光

区には民間と違い営業部門がありませんのでせっかく新しいサービスができてはややもすると知らなかったため本来受けられるべきサービスも受けられえなかった、ということも起こりえます。広報または区のホームページを見ての申請主義が今も基本となっていますので私が区の営業マンになったつもりで区民相談を拡大します。どんな小さなことでもお気軽にお電話下さい。相談は私が直接お受けします。迅速、丁寧、アフターフォローを心がけています。

りとても感動的でした。

さて、この度区の新規事業は60にも上っています。いずれも重要なものばかりですがもうちょっと説明して、という事業も多いと思います。そこで私は普段の区民相談を拡大し受付を行います。

大串ひろやすまで

Tel/Fax: 03-3221-1554

編集後記

「一般質問」、「ちょっと教えて」そして「お知らせ」と各コーナーとも定着してきたかなと思います。今後できるだけタイムリーな情報提供を心がけ発行してまいります。現在、定例会終了後発行していますがもう少し回数も増やしていけたらと考えています。(年4回から年6回へ)この増やす2回分はミニ勉強会の資料として発行を予定しています。今後とも「通信」よろしくお願いします。

URL <http://www5d.biglobe.ne.jp/~ogushi/>

区議会議員 大串博康